



# 1日目ダイコンのタネまき

【日時】  
平成29年9月9日(土)13時30分から16時30分

## 1 開会



ここは、三浦市農業協同組合の小網代集出荷場です。周囲の畑でつくられたダイコンやキャベツを梱包して市場へ運び出す所です。



かながわの農業の魅力や大切さを大発見する「かながわ農業発見隊員」として、今回は36名の皆さんが参加してくれました。



今年、県立保健福祉大学のほか、慶應義塾大学の学生がスタッフとして参加してくれました。発見隊員との意見交換や、タネまきのサポートをしてくれました。



## 2 発見隊長のあいさつと三浦農業の説明



隊長である当センター農政部農地課長が開会のあいさつを行いました。



暑い中ではありますが、ダイコンが大きく育つように楽しく、安全に、そして一生懸命取り組みましょう。



### 3 土地改良区理事長挨拶



諸磯小網代土地改良区の石川理事長から、「以前は周囲を市街化区域に囲まれた谷戸田でしたが、土地改良事業により、使いやすい畑になりました。この体験を通して、農業を理解してもらうとともに、三浦の農地がどのようにしてつくられてきたかを学んでください。」とのあいさつがありました。

### 4 土地改良事業の説明



三浦市農業協同組合の進藤土地改良対策室長から、「土地改良事業を行うことで、トラクターなどの機械が直接畑に入れるようになり、耕起や、タネまき、収穫などの作業がしやすくなります。」との説明がありました。

### 5 ダイコンの栽培～収穫までの説明



三浦市農業協同組合の泉営農部長補佐から栽培について、やさしく、ていねいな説明がありました。

三浦市小網代農業後継者「みどり会」の皆さんです。今日はよろしくお願いします。



## 6 タネまき会場へ移動



グループごとに集まり畑へ出発します。集出荷場から畑まで、大人の足で20分ほどかかります。



暑いですが、頑張って畑まで歩きます。



全員、畑に到着しました。

## 7 ダイコンのタネまき体験等

### (1)ダイコンのタネまき体験



いよいよタネまきです。



最初に、タネのまき方の説明を受けます。



上手にできるかな。



1人で10か所にタネをまきます。





20センチほどの間隔をあけてタネをまきます。黄色のテープが目印です。



その調子！

### (2) キャベツの苗の植付体験

\* 三浦市農協さんのご厚意で、三浦のもう一つの代表的作物であるキャベツの苗の植付体験も行いました。



苗の植え方について説明をうけます。



いよいよ、植え付けです。



地元の若い農業者(みどり会)のお兄さんがていねいに教えてくれました。



キャベツの植付完了！

### (3) ダイコンのタネまき機体験(手動式)・畝たて実演(耕うん機実演)



前輪で溝をつくり、中央のバケツからタネが落ち、後輪で土をかぶせます。



みどり会のお兄さんによる、耕うん機での畝たて実演です。



#### (4)トラクター実演



トラクターは畑や田を耕す機械で、土に空気を入れ、雑草があるとそれを土の中にすき込みます。



耕うんしたばかりの土は、まるでお布団のようにフカフカだね。



トラクターをバックに記念撮影！

#### 8 隊員集合！！



タネまき上手にできました。みんなで ハイポーズ！

## 9 閉会



発見隊員のみなさま、お疲れさまでした。アンケートにもご協力ありがとうございました。次回は9月30日ダイコン菜の間びき体験です。



タネまきを終えた畑は、みどり会の皆さんでダイコンの発芽やキャベツの苗を守る寒冷紗で覆ってもらいました。